

2013年
8月12日

No.

かぼすきー



発行
自治労第34回保育集会
大分県本部実行委員会

〒870-0022
大分市大手町3-2-9



8月10日からの3日間、大分市で第34回全国保育集会が開催され、全国から約1300人の仲間が集まりました。

開会に先立って、地元歓迎アトラクションとして、禅海少年太鼓『和』のみなさんの迫力ある演奏が披露されました。続いて主催者を代表して荒金中央本部副委員長、開催地県本部を代表し森迫大分県本部委員長の挨拶があり、多くの来賓から祝辞をいただきました。



勇壮な太鼓の響き



熱弁をいただいた
木本氏
&
たかもん



会場全員でたかもんダンスに挑戦!!



来年の開催地、埼玉県本部のみなさん

基調提起では、「この間の経過と取り組み」「保育をめぐる現状と課題」「児童館・放課後児童クラブをめぐる現状と課題」についてそれぞれ報告がありました。

その後、高崎山管理公社職員の木本智氏が「高崎山のサル社会について～サルから見たヒトへ忘れかけたものへの気づき」と題し、ユーモアあふれる講演が繰り広げられました。高崎山イメージキャラクターのたかもんとピークルによるたかもんダンスも披露され、会場の皆さんも一体となって楽しみました。